

CO患者11人目の死



万田作業所で、仕事のあい間に撮した写真。まんなか辺りに松島さんがいる。肝臓を冒されていたのも知らずに……



松島さんは、昭和三十八年十一月九日の、あの三川鉱山大爆発のとき被災したが、たまたま妻

「次はだれの番か？」

松島さんの死 全患者に大きなショック

また一つ、三池のCO患者の命の火が消えた。去る昭和四十一年十月末日をもって、政府から不当にも労災補償を打ち切られた松島義信さん(四十三才、元任職工)がその人で、松島さんは補償を打ち切られた後も十分回復せず、倒れる日まで万田作業所に形ばかりの職場復帰、雑作中の身だった。八月十日朝出勤直前吐血、あわてて大池評議病院入院。同病院で観望加療中だったが、十八日午後十一時頃ついに帰らぬ人となった。CO患者の死は、今年にはじめてから松島さんで二人目。全体で十一人目。こんどの死は、全CO患者に大きなショックを与えている。「次はだれの番か」と。(写真は故松島さん)

「闘争資金募集」の訴えを起して、連帯を信じて、誇りをもって、協力していきましょう。そして闘いの火を上げ、全国すみよに命を守る闘いを呼び起す。組合は今、全国の働く仲間と



発行所
三池炭鉱労働組合
大牟田市不知火町2
電話 ③3033番
③3034番
編集兼山下開
発行人
半年間600円 送料共

闘争資金募集の訴え起そう

組合員・主婦会員の皆さん、私たちはCO闘争を軸に据えながら、命を守る闘いをすすめていきたいと思います。組合は今、全国の働く仲間と

「闘争資金募集」の訴えを起して、連帯を信じて、誇りをもって、協力していきましょう。そして闘いの火を上げ、全国すみよに命を守る闘いを呼び起す。組合は今、全国の働く仲間と

多いガン・内臓障害 CO患者の恐るべき死因

松島義信さんの突然の死は、CO患者みんなの胸に「いつ死が自分の体のなかに飛びこんでくるか知れないぞ。次は、だれの番か」という、大きな不安をかき立てているが、直接の死因は、肝臓であった。これでCO患者で十一人目の死亡であるが、それにもガンや肝臓障害による死亡の何と多いことだろうか。これまでの事実を列

- 松本 常男さん 四二年二月七日死。肺ガン
- 松永 義登さん 四二年二月七日死。トラク
- 水谷 種重さん 四二年一月三日死。肝臓ガ
- 片山福太郎さん 四三年三月六日死。肺ガン。
- 江崎 豊さん 四三年五月二日死。肝臓ガ
- 下河 竹次さん 四四年四月二日死。脳軟化
- 西本 正人さん 四四年七月二日死。脳脊髄
- 高尾 国治さん 四六年一月二日死。肝硬

労災・職業病討論集会

9・28には総決起を 総評・九州各県評が大牟田で

本ままりとなった、労災・職業病九州ブロック討論集会の実施要領は、次の通りである。

第一日目(二十六日)
場 所 市内笹林公園内の労働会館大講堂
余休会議 午後一時~同五時
特別報告 ①ストックホルム集會に関する報告 ②土居久公雪の闘い ③カネミライ・スチール中毒の闘い

このほどどいた福岡県評からの通知によると、きたる二十六日から二十八日にわたって、総評九州地方事務所と九州各県総評主催の「労災・職業病九州ブロック討論集会」が、この大牟田で開催されることになり、具体的な計画が明らかとなった。

決起集会 午後十二時三十分~同二時開催の「三池三川鉱坑内火災五周年・CO闘争支援総決起集会」参加。

問題点残した回答

三里校区連絡協議会(大牟田)は、福岡市が三里校区連絡協議会に提出した回答を、去る二十八日同市側から正式の回答が出されてきた。

回答は、かんじんな点で問題を大きく今後に残しており、同校区連絡協議会はその点をきびしく、さらには回答を求めたのだった。

「まがせ」といわれた、それはできない。第一市は、会社の施設上のどこが悪かったから、フッ素公害が発生したのか、その原因をえつかないではないか」ときびしく、「なお、こんど立入検査ができるように考慮せよ」と、強く要求した。